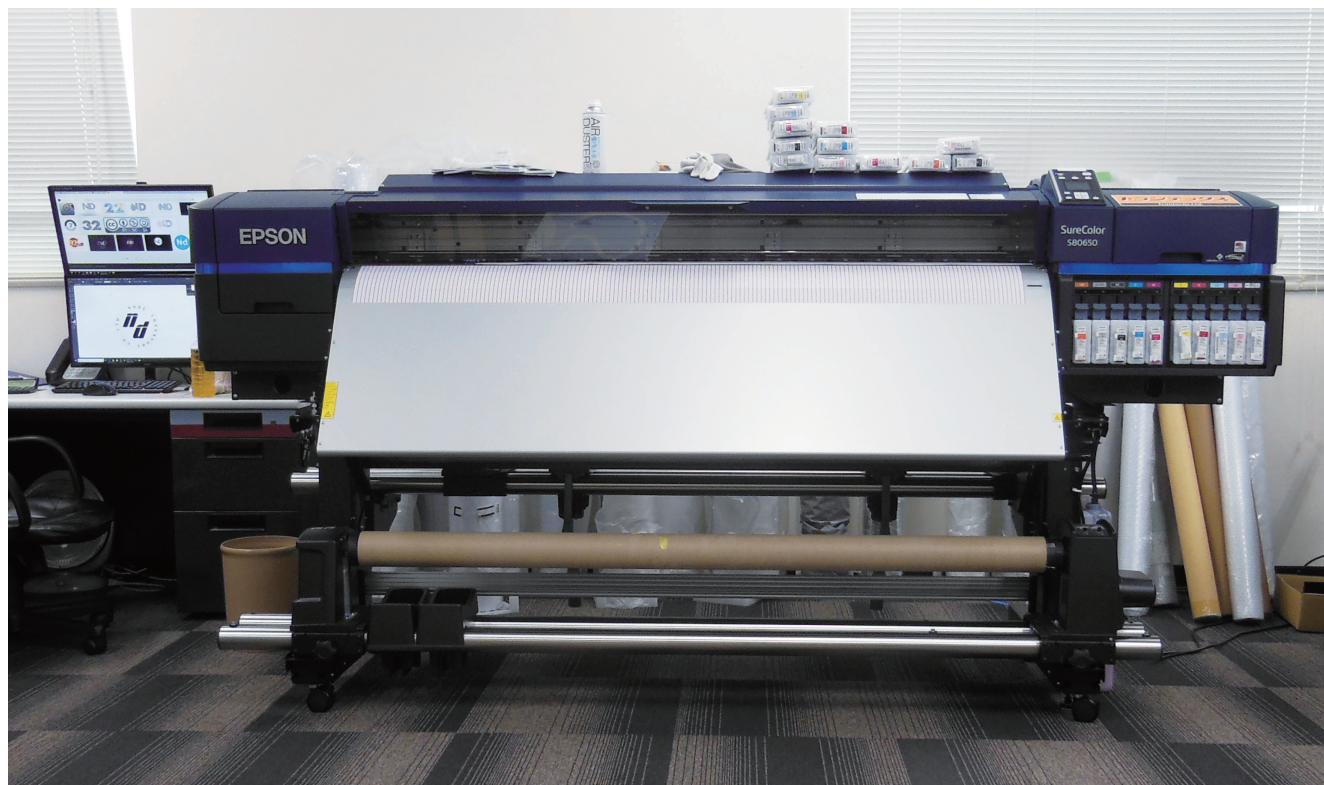




SC-S80650 「UltraChrome G3インク with RED」搭載多色機 「SC-S80650」製作現場をレポート

(株) Cutting-Art は、2007 年に創業。大阪府摂津市に工場を構え、トラックなどへのフリーマーキングをメイン事業として展開しているほか、屋内外サインの企画・製作・施工などの業務も遂行している。

フリーマーキングの施工にあたっては、一昨年に導入したオート・ボディー・プリンターシステムを使用。フィルムを使用せずにトラックの荷台などへダイレクトにプリントができるもので、凹凸・湾曲したコルゲート面への直接印刷ができる。

商業施設のサイン製作も手掛ける同社は昨年、従来使用していたプリンターの買い替え時期が訪れたことを契機にエプソンの溶剤プリンター「SC-S80650」を導入。併せてエプソン販売(株)が提供するカラーマネジメントシステムも取り入れた。

「SC-S80650」は、「Ultra Chrome GS3 インク With RED」の採用で、広い色域をもつだけでなく、光沢感ある画質を実現。乾燥性の高さだけでなく、現場目線での出力後の巻き取り時間短縮にも配慮。「PrecisionCore TFP プ

リントヘッド」、「Epson Wide CMYK Input Profile」なども搭載している。

一方、エプソン販売(株)では、サイン業界を対象としたカラーマネジメントシステムを今年1月から本格始動。「SC-S80650」とX-Rite社の測色器「i1」と連動させたカラーマネジメントが注目を浴びている。

本誌ではシユアカラーとカラーマネジメントシステムの導入に踏み切った(株) Cutting-Art 代表取締役の内藤亮氏に導入の背景や使用感、今後の展望などについて話をうかがった。



株式会社 Cutting-Art

【企業データ】

設立／2015年1月
代表／内藤亮
従業員／5人
所在地／大阪府摂津市鳥飼上3丁目14番13号
URL／<https://cutting-art.co.jp/>

【営業品目】

自家用・商用車及びトラックへのマーキング／移動体広告の企画・計画・施工／屋内外サインの企画・製作・施工／オート・ボディー・プリンターによるプリント事業…他

【主な設備】

IJP1台／オート・ボディー・プリンター・システム1台／カッティングプロッター1台／ラミネーター1台／ラバープレス機1台

—SC-S80650 導入の背景

当社では、もともと他社のプリンターを使用していました。昨年、マシンの買い替えの時期が来たのですが、エプソンのセミナーに参加した際に、「SC-S80650」の存在を知りました。

エプソンのインクジェットプリンター（IJP）といえば、家庭用はもちろん業務用でも名が通っていますから、マシンの信頼性については疑っていませんでした。導入の決め手としては、色域の高さです。発色は現行の溶剤機で群を抜いており、良い意味で綺麗すぎるくらいです。

当社が手掛ける案件は、トラックへのフリートマーケティングがメインですが、屋内外のサイン製作も手掛けています。サイン業界では、マシン性能の向上と比例してクライアントやエンドユーザーの目も肥えてきており、色に関しては特にシビアです。「SC-S80650」が持つ高い色域のおかげで、どのような色にも対応でき、クライアントの要望にも応えられています。

—測色器の導入について

今まで使っていたマシンから他社マシンへの切り替えは勇気が必要でした。使い勝手の面から不安でしたが、これは少しずつ馴れていけばいいこと。最大の懸念事項は色の再現性。他



株式会社 Cutting-Art

代表取締役
内藤 亮 氏

社マシンへ切り換えると、これまでとは異なる色合いで出力されてしまいます。そうなるとクライアントと一から色のやり取りを行う必要があります。

この問題をフォローしてくれたのが「SC-S80650」と連動して使える測色器でした。これまでは目測で色合いを調整していたのですが、指定箇所へ測色器を当てると色が数値化されますので、クライアントから指定された色も簡易に再現することができます。作業時間の短縮だけでなく作業効率も格段に向上し、導入前に抱いていた懸念は一切払拭されました。

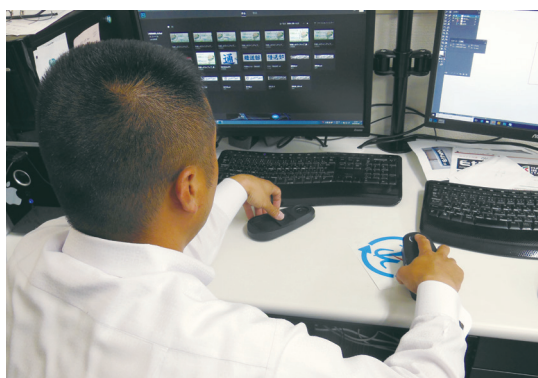
—測色器の具体的な使用感と用途

色の調整については大変助かっています。満足度を点数で表すなら 100 点満点です。色の調整はオペレーター感覚に頼る部分が多く赤や青でも人によって、見え方が若干異なります。ただ、測色器であれば、色が客観的なデータになりますので、クライアントへの説明にも説得力があります。導入後は全クライアントの色を数日掛けて数値化しました。

—今後の展望

クライアントの色に対する要望は年々増しており、些細な色違いも許されません。「SC-S80650」とカラーマネジメントサービスを導入してからというもの色違いに関するクレームは一度もなく、自信を持って提案を強めていけそうです。

今後は、マシンが停止している時間を無くし、ドンドン稼働を上げていきたいと考えており、ゆくゆくは新しい事業として出力サービスを展開していければと考えています。



測色器の導入でクオリティや作業効率も向上したという。



X-Rite 社の測色器「i1（アイワン）」



カラーマネジメント
サービス



SC-S80650

インク種別／エコソルベント
出力解像度／最大 1440dpi
出力速度／最速 18.2㎡/h
(720 × 720dpi 6pass 出力時)

最大印字幅／1616mm
インク色数／CMYK、LCLM、オレンジ、グレー、レッド、
ホワイトまたはメタリックシルバー
外形寸法／W2620 × D880 × H1338mm (最小時)
重量／284kg (インクカートリッジ含まず)
標準価格／¥2,200,000 (税別)

【エプソンホームページ】 <http://epson.jp/surecolor>

【お問い合わせ先】 プリンター購入ガイドインフォメーション 050-3155-8100